

第4回南砺市立保育園審議会会議録

期 日	平成19年8月29日(水) 午前10時～11時55分	
会 場	南砺市福野庁舎2階201会議室	
出席者	宮田 徹 会長	岩田 繁子 副会長
	小林 敏夫 委員	中田 勝治 委員
	浅田 裕二 委員	水木 猛 委員
	嶋 信一 委員	金田 悦子 委員
	川上 優香 委員	江川真理子 委員
	梧桐 朋恵 委員	窪 有美子 委員
	古瀬美奈子 委員	横川 正希 委員
	寺井 孝夫 委員	中藪 淳一 委員
欠席者	柄崎 篤香 委員	高輪 映子 委員
	南 尚三 委員	定村 弘 委員
市当局	清都 邦夫副市長	山本 勝徳収入役
	上田 民生部長	森田 民生部次長(児童育成課長)
事務局	岩見 児童育成課主幹・保育園係長	
	小橋 同係副主幹	斉藤 同係主査

会議内容

(開会)

森田次長 委員の皆様方にはお忙しいところご出席いただきありがとうございます。第4回の保育園審議会を開会いたします。

宮田会長 お早うございます。本日は第4回の審議会となります。第1回目の審議会、第2回目の大門きらら保育園の視察、第3回目の城端さくら保育園の視察を経て、今回は中間的な意見の取りまとめをしていきたいと考えております。事前に審議内容、これまでの審議経過等を含んだ会議資料をお送りしています。本日は「市立保育園の目指すべき方向」ということで、1番目に「目指すべき保育」とは何か、2番目に「特別保育の現状と課題」、3番目に「目指すべき保育サービスのあり方」、4番目に「目指すべき保育を実現するための基本条件」、5番目には「保育園の定数規模」について各項目毎に説明の後、これらは「たたき台」(案)ということですから皆様からの意見をお願いいたします。終了時間は11時30分といたくご協力ください。協議事項に入ります。事務局から資料の説明をお願いします。「目指すべき保育・理念・課題は何か」ということです。

- 森田次長 「保育園の目指すべき保育」のたたき台ということでお願いします。
- 1 頁の「1 目指すべき保育」「南砺市の保育目標」を資料に基づき説明。
- 宮田会長 まずは「目指す保育の理念」の(案)ということです。ご意見、ご質問はありませんか。
- 委員 園長先生が考えられた素案であれば、親に代わって保育するというものになると思うので躰の部分が希薄かと思う。
- 宮田会長 これは「目指す子ども像」ということなので、細かい部分は保育計画で発達段階毎にもう少し具体的に表していくこととなります。保育計画では「母親と共に子どもを育てていく」上で躰の必要性も出てきます。
- 森田次長 貴重なご意見ありがとうございます。これは目標であり、保育計画なり実際に取り組んでいくうえで、保護者との連携についても表すことが必要になります。
- 宮田会長 大体必要とするものは含んでいると思われまふ。表現の部分で見直すことはあるかも知れませんが、次の「特別保育の現状と課題」について説明ください。
- 森田次長 2・3 頁の「特別保育の現状と課題」について説明。
- 宮田会長 「特別保育の現状と課題」について、特別保育毎に説明いただきましたが、通常の保育を充実して保育園の機能を良くしていく課題もあると思われまふ。質問等ありましたらお願いします。
- 委員 「障害児保育」についてですが、障害の種類も幾つもあります、資料の「障害の程度を考慮し該当園で対処している」ことについて詳しく説明ください。
- 森田次長 障害児保育につきまふは、子どもさんが小さいので概ね集団生活に馴染む、保育環境にマッチするお子さんを受け入れております。子どもさんにとっては成長の過程に良い影響があるとも聞いております。また、「きずな学園」等に通っているお子さんについては連携をとりながら保育を実施しています。
- 宮田会長 障害の種類もいろいろあるので、通園施設と並行しながら保育園へ通っている子もおります。22 人の障害児がいるということですが、集団生活をしていくには障害の程度もありますが、通常の人数の保育士の他に加配の保育士配置も必要であります。資料の「重度の場合は保育士の配置や加配も難しい状況である。」この部分について説明ください。
- 森田次長 全ての障害の子に対して加配することは難しいことがあるという意味です。
- 委員 休日保育や病後児保育の PR 不足の対策はとられているのですか。各市の保育状況が気になるのですが、砺波市のホームページは園児数が順次更新されているが、南砺市は4 月のみであり、途中入園の園児数も掲示されていません。せっかく特別保育を実施しているのに施設がもったいないと思ひまふ。

- 森田次長 「保育園だより」「チラシ等」で市内の保護者にPRしているが、今後より一層PRに努めます。
- 宮田会長 「特別保育の現状と課題」についてのまとめをしていただきましたが、次の「目指すべき保育サービスのあり方」について説明ください。
- 森田次長 5・6頁の「目指すべき保育サービスのあり方」について説明。
- 宮田会長 「特別保育の現状と課題」に対しての保育サービスのあり方のたたき台ですが、ご意見はありませんか。
- 委員 病児・病後児保育は保育園に必要なものなのか。南砺中央病院や南砺市民病院等の医療機関にあれば良いのか。医療の専門職が保育園に入ってするものなのか。
- 宮田会長 病児・病後児保育は保育所のみでカバーすれば良いのか、或いは市全体としてネットワーク化して実施すればよいのか。病児保育は登所後に病気になった場合のことです。病気の際は家庭で親が付いていけばよいのだが、ある程度回復した時、また保育中に具合が悪くなった時でもすぐに親が看れない場合は看護師がいる保育園であれば対応ができる。
- 森田次長 これにつきましては、医療機関との連携がなければ簡単には実施できません。県内の現状では院内に設置している病院もあります。
- 宮田会長 病児・病後児保育の対象は広く、病気回復期の子どもであったり、登園後に病気になった子どもで、その場合は専用スペースで保育している。
- 清都副市長 病児保育とはどういう状態のことか。病後児保育は医療行為が終わり、体力回復期の子どもさんを預かることと思っている。保育園に来ている子が熱を出した場合に病院で保育することであれば困るが。
- 宮田会長 病児保育は登園して保育中に熱が出た場合、その子が家に帰る迄看ることを言っている。〇〇保育といってもいろんなイメージがあるかもしれない。できるだけ統一したく、これについての意見もお願いします。
- 委員 民間で夜間保育を実施している保育園もあるが、夜勤のお母さんのために延長保育から夜勤保育へ移していく等の連携がとれないものか。
- 宮田会長 延長保育は現在実施している時間から1時間から2時間延長するものです。富山市に午後10時迄保育をしている保育園はあるが、それ以降の時間に実施している保育園は無い。
- 岩田副会長 職種によっては病院内保育や企業内保育も実施している。
- 委員 資料の「ニーズによって時間延長も検討する」ことについて説明ください。
- 森田次長 延長保育は午後10時・11時迄の保育は想定しておらず、現状より1時間程度延ばすという意味です。

- 委員 病後児保育は、市内保育園に入園している子が、4月に申請していなければ利用できないのではないかと。
- 森田次長 随時、申請は受付しています。
- 宮田会長 ホームページの活用などで利用しやすくしていただきたいと思います。
- 委員 今迄に視察を交えながら3回の審議会で検討してきたが、特別保育等は少子化の中でしっかりと支えていこうということです。それに対応できるような保育士や職員の体制、施設の対応ができるなら地域性のこともあり具体的に詰めていかなければならない。指標、理念の段階は終わり、地域にふさわしい規模の保育園を目指していかなければならない。具体的な協議に入ってもよいのではないかと。
- 宮田会長 貴重な意見ありがとうございます。実現するためには順を追って協議をしていけばよいのかと思っております。そこで資料の4番目の「目指すべき保育を実現するための基本条件」になってくると思われます。
- 委員 保育サービスということですが、サービスを要求されればどこまでも対応していけるのか。とことんニーズが高まればしわ寄せが保育士に行くかもしれない。ニーズにどこまで対応していくのか、決めておくべきではないのか。なぜなら、動物の世界では「餌を捕る」ことを教え、「敵から逃げる」「群れの掟」を教える。第一に子育ては親の責任である。箸の持ち方は躰です。例えばイギリスではテーブルマナーを教えるのは家庭の責任です。親としてのマナーや躰が必要と思う。
- 宮田会長 保育サービスは無制限に答えられるものでもなく、その為の理念と思います。保護者と一緒に子育てをしていくもので、どこかで歯止めをかけることも必要です。今の社会状況の中で一生懸命に子育てをしている親を支えるのが子育て支援ということですが、どこまでも要望に答えるものではないと思います。次に「目指すべき保育を実現するための基本条件」について説明ください。
- 森田次長 6頁「目指すべき保育を実現するための基本条件」を資料に基づき説明。
- 宮田会長 適切なクラス人数は言い難いが、あまり少ない人数だとクラス運営もやりにくい。保育士2名で8チームであればローテーションを組む体制がとれる。ご意見はありませんか。
- 委員 クラス人数が20～25名となっているが、先生は1人なのか。
- 森田次長 職員の配置ではなく、子どもが集団生活をする1クラスの人数を示していますのでご理解ください。
- 委員 親としては大変重要な問題である。会長にお伺いしますが、1人の大人が見守ることができる子の人数の望ましい環境はどのようなものなのでしょうか。

予算で決めるのではなく親が安心して預けられる環境にして欲しい。

宮田会長 子ども1人あたりは少ない方が良い。実現するには、延長保育や障害児保育をする上で加配の保育士をクラスの中へ入れる等少しでも良い方に近づくようにいろんな角度から配慮している。

委員 古い基準をそのまま利用しているのはおかしい。南砺市の独自のものを出して欲しい。

宮田会長 乳児保育や子育て支援の加配の保育士を利用する等保育園全体の工夫で運営していく。審議会としては数字を上げれないが、望ましい形をあげていく。

委員 小学校での1クラスの人数より多い場合もあり、小学生より小さい保育園の子どもをみるのはもっと大変である。長い間そのような環境にいるのは親も心配である。子どもの心の豊かさは得られるのか。

委員 「職員の確保」も資料の「目指すべきサービスのあり方」に上げられており、保育内容を充実し、細かいサービスに対応するようお願いしていけばよい。又、一方的にお願いするばかりではなく、保護者なり地域の私達も協力していくことが大事だと思う。静岡県に加藤学園を訪れた際に、お茶を出していただいた方や子ども達の使う用具を保護していた方は、保護者で曜日によって決まっている方が手伝いをしておられました。保護者や地域の住んでいる人も保育園の中へ入り協力していたので感銘した。こういった協力も考えていかなければならない。

宮田会長 審議会として、子どもにとってより良い保育園のあり方を示す内容ということではよろしいでしょうか。それを受けて、「モデル案」を参考に中間のまとめをしていくことを確認したいと思います。

森田次長 資料の「保育園のモデル」について説明。
実際に特別保育に取り組む場合はモデルに掲載している以上に職員が必要です。

宮田会長 一つのパターンということでご了承ください。保育の基幹部分の職員必要数です。例えば15人程の保育士人数であればどのくらいの規模になるのかという試算の形態です。ご質問はありませんか。

委員 「審議会経過」の「第3回」の中に「規模的に200人台」となっているが、第3回の審議会では、規模的に150人の園児数ということではなかったか。審議会の意見として上げているのはおかしい。

森田次長 審議会の中で一つの意見として発言されたものである。

宮田会長 「審議会経過」については審議対象ではない。参考であり、審議会の意見ではない。

委員 徐々に園児数が減っているが、今後の児童数の資料はあるのか。

- 森田次長 今後の園児数については予想ということなので審議の参考資料として提出を考えていきたい。
- 宮田会長 定員規模や保育士配置、地域との連携を具体的に進めていくべきという意見もあった。第4回迄進めてきましたが、そろそろ具体的な内容に入るという意見もあり、今後の進め方をどのようにしていくのかを確認したい。
- 委員 地域毎の条件もあり、地域毎に考慮していくべきではないか。
- 宮田会長 審議会では基本は全体で、具体的には地域毎で検討することはどうか。
- 委員 最後に地域で反発されることは避けたい。地域の協力がなければ実施できない。
- 宮田会長 第4回の審議会までで審議会全体として纏め、その後は地域毎で検討するか。
- 清都副市長 地域によっては150人或いは200人程度の規模になると思われるが、ある程度の規模でなければ特別保育等もできないと思っておられると理解している。城端地域で1ヶ所に纏められたのはすばらしいと思っていた。10年以上前から統合の話がありその後下火となっていたようだが、「理想の保育園だったのか」ということを勉強させていただき、委員の皆さんも認識を持たれたと思う。地域毎に子どもの人数をまとめた数字を出すのは難しいのではないか。地域毎の箇所数について纏めていただけるのか。各委員の意見を纏めていただきたいが。
- 委員 この資料の内容で地域毎に議論をおろすのは無理ではないか。
- 清都副市長 今後どういうまとめ方をするのか。中間的にまとめていただくのか。
- 宮田会長 共通認識は出ているので、地域毎に検討すべきではないか。中間的なまとめの範囲をどこまでとするのか。各地区で箇所数までの議論を含むのか。
- 委員 合併特例債を利用する場合の期限もあり、具体的な検討に入らなければならないのではないか。
- 清都副市長 保育園の増改築については合併特例債を使い実施していきたい。それについては平成26年で終了する。ある地域だけで纏めるわけにはいかないの、全体としてまとまらなければ実施できない。地域内の数を審議会ですべて出していただくのは無理と思う。方向づけをしていただきたい。
- 宮田会長 今日要望された資料を盛り込み、各地域毎の箇所数を検討するぐらいの資料を提供して方向づけをする事でいかがでしょうか。
- 委員 年内は慎重に扱ってほしい。
- 委員 会議録がホームページで公開されているが、画面にたどり着くまでのアクセスがわかりにくい。

宮田会長 各地域毎におおよその姿を検討できる資料を提出していただき、全体として検討したい。会議録の骨子をまとめたものは公開されている。次回迄審議会としての進め方を決めておきます。本日はありがとうございました。

清都副市長 時間が遅れまして申し訳ありません。これからは現実の各論になるが、未満児等の数が重要である。全面改築する小学校の横に保育園があるが配置をどうするかという地域もある。各地域のバランスを見ながら考えていかなければならない。合併特例債を使って実施する事業も多い。保育園がうまく運営できるように考えていきたい。よろしく申し上げます。

(終了 11時55分)